

講義名	研究演習			
講義コード	15426	授業形態		開講期・曜日・時限
担当教員	保田 洋	ナンバリング・コード		通年 月曜日 5時限
				SEM350

学部・学科	演習分野
全学部全学科	経営工学（データ分析やシステム活用した業務改善・経営改善）

概要説明

研究演習では、各自テーマを見つけることができました。
 研究演習では、見つけたテーマの対して、深く研究を行うことや実践をしていくこととなります。
 例としては、企業の抱える課題を解決していくような活動を行うこともあります。
 次のステップの卒業研究では、最終的に研究成果を学会へ発表することも目標としています。

主な卒業論文のタイトル

2025年（2名）
 プロ野球観客動員数の要因に関する研究 -阪神タイガースのデータをもとに-
 プロ野球の観客動員数の要因に関する研究 -オリックス・バファローズのデータをもとに-

教員からの要望

自分が決めたテーマに対して、しっかりとそのことを投げ出さずに主体的に最後までやっていける学生を求めます。

選考方法

評価方法
ゼミへの積極的な姿勢、課題の提出など総合して評価します。

教員英字氏名	研究室
Hiroshi Yasuda	棟317研究室

最終学歴
兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科博士後期課程応用情報科学専攻

学位
博士（応用情報科学）

主な研究活動・社会活動・研究業績

<研究活動>
 ・中小企業におけるプロジェクトマネジメントの研究
 ・中小企業における経営・業務改善のためのDX推進に関する研究
 ・文系学生におけるデータサイエンス・AIの教材開発の研究
 ・データ分析結果の可視化に関する研究

<社会活動>
 ・一般社団法人 システムコラボ・マネジメント（国立大学法人静岡大学18番目の認定法人）理事及び技術顧問
 東京都の中小企業に対して、業務改善のための支援を行っています。
 ・プロジェクト株式会社のアドバイザー
 全国にグループ会社にもつ板金会社に経営情報にけるノウハウの提供を行い、経営改善に導いています。
 ・理科大DX倶楽部の特別顧問
 東京理科大学のDX倶楽部の特別顧問として業務システムの開発におけるプログラミングの指導を行っています。

<研究業績>
 保田洋，川向肇，西村治彦（2020）「中小企業プロジェクトの円滑なマネジメントに向けた失敗要因の分析」，情報知識学会誌，30(3)，pp.299-311。
 保田洋，川向肇，西村治彦（2022）「中小企業プロジェクトにおけるリスク対応のためのリスク要因の分析と評価」，情報知識学会誌，32(1)，pp.39-52。

企業（グローリー株式会社）では、自動精算機（オートレジスター）、印鑑照合のシステム、顔認証の端末を開発しました。

趣味・特技
 ・家族で旅行（年1回は家族で知らない場所へいっています）
 ・野球観戦（特に高校野球の地方大会を見に行っています）
 ・ガンブラ作成（小学生5年の子どもがガンブラにハマってしまい、一緒に作っています）

所属
商学部経営学科

所属学会
オペレーションズ・リサーチ学会 経営情報学会 情報処理学会 情報知識学会

専門分野
応用情報（プログラム、データ分析） プロジェクトマネジメント

担当科目
オペレーションズ・リサーチ、品質管理論、専門基礎演習(商)、研究演習、研究演習、卒業研究、教養特講（経営学科へのいざない）、経営学入門、デジタル社会の基礎知識

備考

実務経験の有無及び活用
 実務経験あり
 大学卒業後、貨幣処理機メーカーで約10年、世にない製品の開発や研究開発を行っていました。
 その後、大学で約20年間教育と研究を行っています。それと同時に静岡大学発ベンチャー企業を立ち上げ中小企業の経営改善のための支援を行っています。
 実際の現場でどのようなことが必要かなども含めて指導を行っています。